

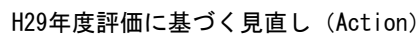
記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事務事業名		スポーツ推進委員活動事業			事務事業コード	30490100
概要		スポーツ推進委員は、非常勤特別職として教育委員会から委嘱されており、資質向上のため、各種会議・研修会に参加する。				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援		主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課
	施策	49	スポーツ活動の支援		事業類型	法定事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和47年度～	見直しの裁量
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市スポーツ推進委員に関する規則				
市関連事業						
対象		スポーツ推進委員				
実施の背景		スポーツ推進委員は、非常勤特別職として教育委員会から委嘱され、活動（定数25人以内、任期2年）する。また、地域スポーツの課題に関する実践報告・発表や情報交換などに参加して、資質向上を図る必要性がある。				
事業目標		市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言・連絡調整をする。				
事業内容		・市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言及び連絡調整を行う。 ・スポーツ推進委員の資質向上を図るため、関東スポーツ推進委員研究大会や東京都スポーツ推進委員協議会にスポーツ推進委員を派遣している。				

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を行った。 平成28年度のスポーツ推進委員は20人であり、各種講習会や東京都のスポーツ大会等に18件延べ62人を派遣している。	平成28年度は委員定数を満たしていない現状ではあったが、そのような現状でも、委員の活動については、全市的なスポーツ事業の企画・運営など、多岐に渡る活動を精力的に協力いただいた。	



H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を継続して行う。		通常の活動に加え、スポーツ推進委員近隣7市（本市を含む）で実施している第9ブロック研究大会を通して、地域のスポーツ推進委員活動に関する諸問題解決のための方策の検討を行い、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、広域的な連携協調を図り、必要なスポーツ振興の在り方を考えて行く場の提供を行う。また、オリンピック・パラリンピックの機運醸成に合わせ、市民誰もがスポーツに親しめるよう、年齢や体力に合わせた体験教室等の実施を検討していく。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を行った。 平成29年度のスポーツ推進委員は19人であり、各種講習会や東京都のスポーツ大会等に13件延べ48人を派遣している。		平成29年度も委員定数を満たせていない現状ではあったが、そのような現状でも、委員の活動については、全市的なスポーツ事業の企画・運営など、多岐に渡る活動を精力的に協力いただいた。	



H30年度の具体的な取組（Plan）	H30年度の方向性（Plan）
市のスポーツ振興のコーディネーターとして、スポーツ教室、レクリエーション事業の企画運営、地域スポーツ活動の指導助言、スポーツ指導者の育成を継続して行う。	通常の活動に加え、スポーツ推進委員近隣7市（本市を含む）で実施している第9ブロック研究大会を通して、地域のスポーツ推進委員活動に関する諸問題解決のための方策の検討を行い、スポーツ推進委員の資質向上を図るとともに、広域的な連携協調を図り、必要なスポーツ振興の在り方を考えて行く場の提供を行う。また、オリンピック・パラリンピックの機運醸成に合わせ、市民誰もがスポーツに親しめるよう、年齢や体力に合わせた体験教室等の実施を検討していく。

- 1 -

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
①	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	3
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	3,825,000	3,772,000	3,814,000	3,717,000	3,692,000	3,596,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	2,500,000	0	0	0	0	0
一 般 財 源	1,325,000	3,772,000	3,814,000	3,717,000	3,692,000	3,596,000
予 算 現 額	3,825,000	3,767,000	3,814,000	3,710,000	3,692,000	0
決 算 額	2,969,469	3,081,516	3,413,910	3,241,293	3,276,809	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	2,969,469	3,081,516	3,413,910	3,241,293	3,276,809	0
執 行 率	77.6%	81.8%	89.5%	87.4%	88.8%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.58	1.03	1.02	1.02	1.10	
職 員 人 件 費	4,664,160	7,819,961	7,947,068	7,948,353	8,449,786	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	124,626	257,583	234,460	243,334	306,246	
総 コ ス ト	7,758,255	11,159,060	11,595,438	11,432,980	12,032,841	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
○スポーツ推進委員を委嘱し、各文化センター圏域でのスポーツの生活化の推進や、全市的なスポーツの振興を図った。 ○毎年、関東スポーツ推進委員研究大会等へスポーツ推進委員を派遣し、当面する生涯スポーツの諸問題について研究協議や情報交換を行うことにより、スポーツ推進委員及び担当職員の資質向上と地域スポーツの振興等を図った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
本市のスポーツ振興には、スポーツ推進委員の協力が不可欠であることから、今後も継続して資質向上の支援を行い、スポーツの推進を目的とした事業の実施に係る連絡調整、並びに市民に対するスポーツの実技指導や、その他スポーツに関する指導及び助言を行ってもらう。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	05	1627500	スポーツ推進委員活動費	3,599,000	3,191,809	3,427,000
2	01	50	35	05	1631000	負担金 関東スポーツ推進委員研究大会	5,000	5,000	77,000
3	01	50	35	05	1632000	負担金 東京都スポーツ推進委員協議会	78,000	70,000	82,000
4	01	50	35	05	1633000	負担金 第9ブロック研究大会	10,000	10,000	10,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							3,692,000	3,276,809	3,596,000

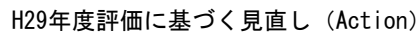
記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事 務 事 業 名		社会体育指導者育成事業			事 務 事 業 ｺ ー ｽ		30490200	
概 要		コムスポリーダー、ジュニアスポーツ指導者等に講習会、研修会を行う。						
総 合 計 画	基本施策	6	スポーツ活動の支援		主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課		
	施策	49	スポーツ活動の支援		事業類型	任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり	
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法						
市 関 連 事 業								
対 象		市民、コムスポリーダー、ジュニアスポーツ指導者、スポーツ推進委員						
実 施 の 背 景		市民スポーツの多様化に対応できる指導者の育成が重要であり、指導者の資質向上を図るため。						
事 業 目 標		指導者の資質が向上することにより、スポーツイベント、スポーツ教室や地域体育館自主事業での活動が活発になることで、スポーツタウン府中の実現につながる。						
事 業 内 容		各種ボランティア指導者（コムスポリーダー、ジュニアスポーツ指導者等）の資質向上を図り、市民スポーツを振興するため、講習会、研修会を行う。						

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
ジュニアスポーツ指導者講習会 2回、参加者 延べ52人 コミスポリーダー登録講習会 1回、参加者 6人 コミスポ協力者研修会 1回、参加者 26人 スポーツ推進委員障害者スポーツ研修会 1回、参加者 21人	スポーツ推進委員及びスポーツ指導者等の資質向上が図れ、市民スポーツの振興につながった。	



H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
スポーツ指導者講習会	3回	実施に当って、時代や状況に即した、資質向上につながる研修や講習会の内容について検討を図っていく	
スポーツ推進委員内部研修会	1回		
コミスポリーダー登録講習会	1回		
コミスポ協力者研修会	1回		
スポーツ推進委員障害者スポーツ研修会	3回		
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
ジュニアスポーツ指導者講習会	2回、参加者 延べ89人	スポーツ推進委員及びスポーツ指導者等の資質向上が図れ、市民スポーツの振興につながった。	
スポーツ推進委員障害者スポーツ研修会(兼)コミスポ協力者研修会	1回、参加者 27人		
スポーツ推進委員障害者スポーツ研修会	2回、参加者 71人		
市民スポーツ公開講座	1回、参加者 27人		



H30年度の具体的な取組（Plan）	H30年度の方向性（Plan）
スポーツ指導者講習会 2回 スポーツ推進委員内部研修会 1回 コミスポリーダー登録講習会 1回 コミスポ協力者研修会 1回 スポーツ推進委員障害者スポーツ研修会 2回	実施に当たって、時代や状況に即した、資質向上につながる研修や講習会の内容について検討を図っていく

A 重点化・拡大して継続		B	各種講習会、研修会を実施することによって、スポーツ推進委員、コミスポ協力者などの資質の向上が図れている。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1	
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 講習会、研修会の実施回数	7	計画値 当初値	7	7	7	7	7	コミスポリーダー登録講習会をスポーツ推進委員障害者スポーツ研修会と同時開催としたことによる減。また、コミスポリーダー登録講習会は、登録者が少人数であったことから個別対応したことにより実施しなかった。
		計画値 補正值	-	-	-	6	平成29年度	
	回	実績	6	7	5	6	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
	指導者の資質向上は重要であり、市が主体的に進めるべきである。			
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	531,000	504,000	479,000	455,000	443,000	435,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	531,000	504,000	479,000	455,000	443,000	435,000
予 算 現 額	531,000	504,000	479,000	455,000	448,000	0
決 算 額	378,494	364,972	316,850	329,196	337,702	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	378,494	364,972	316,850	329,196	337,702	0
執 行 率	71.3%	72.4%	66.1%	72.4%	75.4%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	
職員人件費	884,582	843,329	857,037	857,175	921,795	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	23,636	27,778	25,284	26,242	33,408	
総 コ ス ト	1,286,712	1,236,079	1,199,171	1,212,613	1,292,905	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
各種講習会、研修会を実施し、スポーツ推進委員をはじめ、コミスが協力者などの資質の向上を図った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
時代とともに、指導者のコーチングの手法も変化してきている。選手のやる気を引き出すためにも、指導者の育成が重要となっている。今後においても継続して指導者の資質向上を図る必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1636000	社会体育指導者育成事業費	443,000	337,702	435,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							443,000	337,702	435,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事 務 事 業 名			スポーツの生活化推進事業			事 務 事 業 コ ー ド		30490300		
概 要		地域の団体が行う各種行事等へ指導者を派遣、コミュニティ協議会へ事業委託、総合・地域体育館の教室等運営。								
総 合 計 画	基本施策	6	スポーツ活動の支援			主管部課名		文化スポーツ部 スポーツ振興課		
	施 策	49	スポーツ活動の支援			事業類型		任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法、スポーツ基本法施行令								
市 関 連 事 業										
対 象		市民（在勤・在学を含む）								
実 施 の 背 景		市民が日常生活の中にスポーツを取り入れて、継続的にスポーツ活動に親しむことができるよう、指導者の派遣やスポーツ教室等を実施している。								
事 業 目 標		市民が自主的にスポーツ活動をできるようにすると共に、身近な場所でスポーツに親しむことができるようする。								
事 業 内 容		地域の団体が行う各種行事等へ指導者を派遣するとともに、文化センターコミュニティ協議会へ事業を委託する。 また、スポーツ教室の開催や総合・地域体育館での様々な年代を対象とした各種教室を行う。								

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
指導者派遣事業 13回 スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ協議会11団体 スポーツ教室運営事業 参加者 延1,141人 スポーツ活動運営事業 参加者 延68,737人	体育館等でのスポーツ活動を活発にするため、管理備品の更新を行った。また地域の団体が行う各種行事等へ指導者の派遣をし、各文化センターコミュニティ協議会への事業の委託をすることで、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」の提供が図られ、日常生活へのスポーツ定着が推進されたと考えている。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
指導者派遣事業 12回 スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ協議会11団体 スポーツ教室運営事業 参加者 延900人 スポーツ活動運営事業 参加者 延70,000人		体育館において、スポーツ活動を滞りなく行えるようにするために管理備品の更新を行い、スポーツの生活化を図る。また、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」を提供することで、日常生活へのスポーツ定着を推進していく。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
指導者派遣事業 9回 スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ協議会11団体 スポーツ教室運営事業 参加者 延1,197人 スポーツ活動運営事業 参加者 延62,173人		体育館等でのスポーツ活動を活発にするため、管理備品の更新を行った。また地域の団体が行う各種行事等へ指導者の派遣をし、各文化センターコミュニティ協議会への事業を委託することで、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」の提供が図られ、日常生活へのスポーツ定着が推進されたと考えている。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
指導者派遣事業 12回 スポーツの生活化推進事業 文化センターコミュニティ協議会11団体 スポーツ教室運営事業 参加者 延950人 スポーツ活動運営事業 参加者 延70,000人	体育館において、スポーツ活動を滞りなく行えるようにするために管理備品の更新を行い、スポーツの生活化を図る。また、定期的にスポーツに親しむ「機会」と「場」を提供することで、日常生活へのスポーツ定着を推進していく。

平成31年度における事業の位置付け

A 重点化・拡大して継続	B	スポーツ活動運営事業について、地域体育館の改修工事の影響により実績が少なくなっているが、継続した文化センターコミュニティ協議会への事業委託と、総合・地域体育館の教室等の実施によって、スポーツの生活化は浸透してきている。また、地域の団体が行う各種行事等への指導者派遣も定着してきている。今後もさらなる利用拡大を図るため周知を継続していく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない		
2 見直しには法令等の改正が必須		
3 見直しの必要性はあるが時期尚早	1	
4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1	
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 指導者派遣事業の派遣回数	12	計画値 当初値	12	12	12	12	12	平成27・29年度の指導者派遣事業の派遣回数は計画値を下回ったが、毎年ほぼ一定数の派遣はできていることから、スポーツの生活化は図られてきているものと考えている。
		補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	回	実績	14	10	13	9	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	15,489,000	15,789,000	15,465,000	14,595,000	14,971,000	18,740,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	1,553,000	1,554,000	1,554,000	1,628,000	1,628,000	1,648,000
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	12,500,000	0	0	0	0	0
一 般 財 源	1,436,000	14,235,000	13,911,000	12,967,000	13,343,000	17,092,000
予 算 現 額	15,489,000	15,789,000	15,465,000	14,595,000	15,008,000	0
決 算 額	14,666,780	15,233,975	15,160,028	14,284,821	14,018,164	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	1,542,000	1,551,000	1,623,000	1,650,000	1,551,000	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	13,124,780	13,682,975	13,537,028	12,634,821	12,467,164	0
執 行 率	94.7%	96.5%	98.0%	97.9%	93.4%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	1.31	1.31	1.30	1.30	1.23	
職 員 人 件 費	10,454,152	9,966,617	10,128,616	10,130,254	9,448,398	
嘱 託 員 数	0.5	0.5	0	0	0.1	
嘱 託 員 人 件 費	1,619,039	1,675,362	0	0	312,040	
(間接経費)						
間 接 経 費	386,111	453,690	298,822	310,132	370,280	
総 コ ス ト	27,126,082	27,329,643	25,587,466	24,725,207	24,148,882	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
総合・地域体育館で体操教室等を実施し、地域の団が行う各種行事等へ指導者の派遣を行い、文化センターコミュニティ協議会へ事業を委託することで、スポーツの生活化の浸透を図っている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
利用に支障をきたさぬよう費用対効果を検討しながら、貸出用レクリエーション用具の更新を行う必要がある。また、指導者派遣事業を多くの団体に利用していただけるよう、更なる周知に努める。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1637000	スポーツの生活化推進事業費	1,751,000	1,468,376	5,668,000
2	01	50	35	10	1639000	市民スポーツ教室運営費	200,000	186,296	196,000
3	01	50	35	25	1644000	総合体育館スポーツ活動運営費	4,666,000	4,338,342	4,664,000
4	01	50	35	25	1645000	地域体育館スポーツ活動運営費	8,354,000	8,025,150	8,212,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							14,971,000	14,018,164	18,740,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名		社会体育奨励事業			事務事業コード	30490400
概要		選手派遣・強化をはじめ、スポーツ団体への支援などを行うことにより、スポーツの振興を図る。				
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援		主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課
	施策	49	スポーツ活動の支援		事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市スポーツ活動奨励事業援助に関する要綱				
市関連事業						
対象		市民、スポーツ団体、東京都市町村総合体育協会連合				
実施の背景		スポーツの競技力向上により、スポーツ振興を図るため。				
事業目標		都民大会等選手派遣をはじめ、スポーツ団体や個人への支援などを行うことにより、スポーツの振興を図る。				
事業内容		・都民大会等への市代表選手の派遣・強化について、府中市体育協会に委託している。 ・スポーツ団体への支援については、市営体育施設等の会場使用料（器具使用料を含む）の負担、優勝杯、トロフィー、メダル等の寄贈、事業PRの協力、事業運営に伴う指導及び助言などを行う。 ・毎年、多摩地区の全市町村（26市3町1村）が参加して行われる、市町村総合体育大会の開催費用として、負担金を東京都市町村体育協会連合会に支出する。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
都民体育大会選手派遣（延487人） 市町村総合体育大会選手派遣（14種目、延305人） 市民スポーツ賞の顕彰（12個人、4団体） スポーツ団体への支援（メダル等寄贈、市内体育施設使用料援助）（延8団体）	毎年ほぼ一定数の選手を派遣できており、レベルの高い中で競技を経験してもらうことで、さらなるスポーツへの関心と、競技力の向上が図られていると考えている。また、国内外での優秀な成績を収める選手を毎年輩出できていることから、市民の競技力向上に繋がっているものと考えている。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
都民体育大会選手派遣（延500人） 市町村総合体育大会選手派遣（14種目、延300人） 市民スポーツ賞の顕彰（11個人、2団体） スポーツ団体への支援（メダル等寄贈、市内体育施設使用料援助）（延8団体）		本年度も、都民大会や市町村総合体育大会等が開催されるため、例年に引き続き、多くの市民を強化・派遣し、市民の体力向上、また競技力の向上に努める。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
都民体育大会選手派遣（延437人） 市町村総合体育大会選手派遣（14種目、延304人） 市民スポーツ賞の顕彰（2個人、3団体） スポーツ団体への支援（メダル等寄贈、市内体育施設使用料援助）（延7団体）		毎年ほぼ一定数の選手を派遣できており、レベルの高い中で競技を経験してもらうことで、さらなるスポーツへの関心と、競技力の向上が図られていると考えている。また、国内外での優秀な成績を収める選手を毎年輩出できていることから、市民の競技力向上に繋がっているものと考えている。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
都民体育大会選手派遣（延500人） 市町村総合体育大会選手派遣（14種目、延300人） 市民スポーツ賞の顕彰（9個人、2団体） スポーツ団体への支援（メダル等寄贈、市内体育施設使用料援助）（延8団体）	本年度も、都民大会や市町村総合体育大会等が開催されるため、例年に引き続き、多くの市民を強化・派遣し、市民の体力向上、また競技力の向上に努める。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	都民体育大会等への選手強化・派遣については、市民の体力向上とスポーツの競技力向上のために、市と非営利活動法人府中市体育協会をはじめとした各競技団体との協働で進めており、一定の成果をあげている。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 都民体育大会選手派遣数	490	計画値 当初値	500	500	500	500	500	他の大会等との日程の関係もあるため、一概には言えないが、市民の体力・競技力向上のため、団体への働きかけを行い、目標値の派遣人数前後を維持している。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	409	524	487	437	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	4,888,000	6,177,000	5,889,000	5,942,000	6,898,000	6,130,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	4,000,000	0	0	0	0	0
一 般 財 源	888,000	6,177,000	5,889,000	5,942,000	6,898,000	6,130,000
予 算 現 額	4,888,000	6,174,000	5,896,000	6,071,000	6,898,000	0
決 算 額	4,413,862	5,607,975	5,775,909	5,991,194	6,330,707	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	4,413,862	5,607,975	5,775,909	5,991,194	6,330,707	0
執 行 率	90.3%	90.8%	98.0%	98.7%	91.8%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	1.05	0.63	0.63	0.63	0.64	
職 員 人 件 費	8,363,322	4,829,976	4,908,483	4,909,277	4,916,239	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	223,467	159,096	144,813	150,295	178,179	
総 コ ス ト	13,000,651	10,597,047	10,829,205	11,050,766	11,425,125	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
・都民体育大会等への選手派遣については、スポーツの競技力向上のために、本市と府中市体育協会をはじめとする各競技団体との協働で進めており、一定の成果をあげている。 ・競技力の向上に努めていることにより、世界レベルの選手の輩出にも繋がっている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
より多くの市民に対する更なる競技力向上に向け、支援を継続していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1638000	社会体育奨励費	6,368,000	5,800,707	5,600,000
2	01	50	35	10	1646000	負担金 市町村総合体育大会	530,000	530,000	530,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							6,898,000	6,330,707	6,130,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民スポーツ大会等運営事業				事務事業コード	30490600
概要	市民がスポーツ活動を通して、地域コミュニティや市内トップチームとの連携を図り、「スポーツタウン府中」を発展させる。					
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援		主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課
	施策	49	スポーツ活動の支援		事業類型	任意事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	昭和33年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	スポーツ基本法、市民体育大会開催基準要項					
市関連事業						
対象	市民（市民体育大会は、在住・在勤・在学であり、アマチュア競技者。中学校対抗に参加する者は、学校長の承認のある者）					
実施の背景	日頃の活動成果を発揮する機会を提供し、市民のスポーツ活動を活発にする。また、日頃からスポーツ活動になじみのない市民に対し、スポーツに親しむ場の提供を行い、スポーツ振興を図るため。					
事業目標	スポーツ人口の増大と、青少年の健全育成、また運動機会の提供を目指す。					
事業内容	▼夏季（水泳競技）・秋季（陸上競技ほか）・冬季（スキー競技）に行われる市民体育大会を実施している。 また、スポーツ大会として、①小・中学生が対象のジュニアスポーツ大会（軟式野球・サッカー等）、②壮年層が対象の壮年ソフトボール大会、③高齢者が対象の選抜軟式野球大会、④市内外のチームによる府中駅伝競走大会を実施している。 ▼子ども達とトップアスリートとの交流機会の充実を図るため、市内を拠点として活動しているトップチーム等との協働により、郷土の森総合体育館やサッカー場において、ボールなどを使ってスポーツを楽しむイベント「ボールふれあいフェスタ」を開催する。					

2 事業計画・評価

H28年度実績（Do）	H28年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
市民体育大会（夏季大会 延832人、秋季大会 延15,313人、冬季大会 延83人） スポーツ大会（648チーム、延6,271人） レクリエーション事業（7事業、延8,100人） 歩いて知ろうわがまち府中！（延655人）	全体として、概ね計画値どおりの参加者数となっている。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し（Action）

H29年度の具体的な取組（Plan）	H29年度の方向性（Plan）	
市民体育大会（夏季大会 延1,000人、秋季大会 延16,000人、冬季大会 延60人） スポーツ大会（700チーム、延6,500人） レクリエーション事業（7事業、延7,700人） 歩いて知ろうわがまち府中！（450人）	ジュニアから高齢者まで、幅広い層が参加できるスポーツ等の継続実施や、日ごろの練習の成果を発表できる場の提供に努める。	
H29年度実績（Do）	H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
市民体育大会（夏季大会 延859人、秋季大会 延14,993人、冬季大会 延75人） スポーツ大会（710チーム、延6,347人） レクリエーション事業（8事業、延8,608人） 歩いて知ろうわがまち府中！（324人）	全体として、概ね計画値どおりの参加者数となっている。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し（Action）

H30年度の具体的な取組（Plan）	H30年度の方向性（Plan）	
市民体育大会（夏季大会 延900人、秋季大会 延16,000人、冬季大会 延60人） スポーツ大会（700チーム、延6,500人） レクリエーション事業（8事業、延8,000人） 歩いて知ろうわがまち府中！（400人）	ジュニアから高齢者まで、幅広い層が参加できるスポーツ等の継続実施や、日ごろの練習の成果を発表できる場の提供に努める。	

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	毎年多くの参加者があり、日頃の成果の発表、また、交流の場として今後も継続していく必要がある。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
1 大幅な見直しは必要ない	1	
2 見直しには法令等の改正が必須		
3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
4 現状では見直しが不可能		
1 見直し・縮小	1	
2 他事業との整理・統合		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① スポーツ大会参加者数	5,900	計画 当初値	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	合計参加者数としては、微増である。今後も継続して運動機会の提供を図っていく。
		計画 補正值	-	6,200	6,500	6,500	平成29年度	
	人	実績	6,482	6,593	6,271	6,347	-	
② 市民レクリエーション事業参加者数	7,400	計画 当初値	7,400	7,400	7,500	7,500	7,500	
		計画 補正值	-	-	-	7,700	平成29年度	
	人	実績	7,073	7,944	8,100	8,608	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
	スポーツ活動になじみのない方に、レクリエーション体験を通したスポーツ活動のきっかけ作りは重要であり、市が主体的に実施すべきである。			
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	25,261,000	26,120,000	30,293,000	30,479,000	47,234,000	43,659,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	8,000,000	5,000,000
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	24,500,000	0	0	186,000	127,000	180,000
一 般 財 源	761,000	26,120,000	30,293,000	30,293,000	39,107,000	38,479,000
予 算 現 額	25,548,000	26,123,000	30,786,000	31,626,000	47,229,000	0
決 算 額	25,113,257	25,874,810	30,253,903	30,516,652	45,128,822	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	4,127,036	6,648,419	13,479,403	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	187,500	260,500	293,500	0
一 般 財 源	25,113,257	25,874,810	25,939,367	23,607,733	31,355,919	0
執 行 率	98.3%	99.0%	98.3%	96.5%	95.6%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	3.38	3.38	3.36	3.36	4.45	
職 員 人 件 費	27,019,963	25,759,871	26,178,576	26,182,810	34,183,227	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	721,971	848,514	772,340	801,573	1,238,907	
総 コ ス ト	52,855,191	52,483,195	57,204,819	57,501,035	80,550,956	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市のスポーツの祭典である市民体育大会は、毎年約16,000人の参加者があり、スポーツ大会においても、ジュニアから高齢者まで多くの参加者がある。どの大会も、日頃の練習の成果発表と参加者の交流の場として開催している。レクリエーション事業は、日頃スポーツ活動になじみのない市民に対し、レクリエーション的イベント体験等を通してスポーツに親しむ場を提供し、活動のきっかけ作りとして開催している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
子ども達が様々なスポーツ・レクリエーションを体験することにより、スポーツへの関心を深め、スポーツ人口の拡大に努めていく。また、スポーツ大会等においては、スポーツ競技力の向上を高める方策の検討や、種目による参加チーム数、参加者数の拡大も課題となっている。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1640000	市民体育大会運営費	16,862,000	16,446,134	17,076,000
2	01	50	35	10	1641000	スポーツ大会運営費	19,354,000	19,236,638	19,206,000
3	01	50	35	10	1642000	レクリエーション事業運営費	7,318,000	6,422,501	3,677,000
4	01	50	35	10	1643100	歩いて知ろうわがまち府中運営費	3,700,000	3,023,549	3,700,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							47,234,000	45,128,822	43,659,000

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事 務 事 業 名		スポーツ振興活動支援事業				事 務 事 業 コ ー ド		30490700	
概 要		スポーツ団体や個人に対する補助金							
総 合 計 画	基本施策	6	スポーツ活動の支援			主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課		
	施 策	49	スポーツ活動の支援			事業類型	任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和52年度 ～		見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり	
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法、体育団体活動事業補助金交付要綱等							
市 関 連 事 業									
対 象		特定非営利活動法人府中市体育協会（以下「府中市体育協会」という。）に加盟している団体、府中市体育協会加盟団体に準ずる団体または、府中市青少年スポーツ団体、ジュニアスポーツ団体、高校生以下の個人と団体							
実 施 の 背 景		父兄や団体の負担を軽減することによって、スポーツ活動の機会増。スポーツ選手の強化、自主的・組織的な活動を図る。							
事 業 目 標		市民対象の事業に対して、軽負担で参加できるよう事業費の一部を市が負担し、スポーツ活動の機会を増やす。また、ジュニアに対しては、父兄や団体の負担を軽減することによって、スポーツ選手の強化、自主的・組織的な活動を図る。							
事 業 内 容		・特定非営利活動法人府中市体育協会（以下「府中市体育協会」という。）に加盟している団体、府中市体育協会加盟団体に準ずる団体または、府中市青少年スポーツ団体の実施事業に関わる経費の補助を行う。（体育団体活動事業） ・全国・関東大会に出場する高校生以下の市内の個人・団体に補助を行う。（スポーツ大会参加） ・市内に在住する小・中学生で構成された10名以上の市民をクラブ員とし、クラブ員の健全育成のために、継続的、計画的かつ民主的な運営をされている成人団体へ、事業実施に関わる経費の補助を行う。（ジュニア活動事業）							

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼体育団体活動事業補助 体育協会加盟団体 19団体、ジュニアスポーツ団体 5団体、その他スポーツ団体 4団体 ▼スポーツ大会参加補助 全国・関東大会出場 23件 ▼ジュニアスポーツ活動事業補助 スポーツクラブ 85団体	変動はあるものの、ここ数年、全国大会等への出場件数が多くなってきている。日頃の支援が選手の技術力向上につながっていると考えられる。	

H29年度評価に基づく見直し (Action)

平成31年度における事業の位置付け				
A 重点化・拡大して継続		B	補助金を交付することで、市民等の負担が軽減され、スポーツのしやすい環境づくりが図られている。	
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない			
	2 見直しには法令等の改正が必須			
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早			
	4 現状では見直しが不可能			
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1		
	2 他事業との整理・統合			
D 休止・廃止等	1 休止			
	2 廃止			
	3 完了			

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 体育団体活動事業補助金交付団体数	27	計画値 当初値	27	27	27	27	27	ジュニアスポーツ活動事業補助金の団体数の減少は、市内在住のクラブ員が10名に満たない団体が出てきているためである。
		計画値 補正值	-	-	-	28	平成29年度	
	団体	実績	29	28	28	28	-	
② ジュニアスポーツ活動事業補助金交付団体数	92	計画値 当初値	92	92	92	92	92	
		計画値 補正值	-	90	89	86	平成29年度	
	団体	実績	88	87	85	87	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	6,070,000	5,993,000	5,604,000	5,325,000	5,207,000	5,032,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	4,000,000	0	0	0	0	0
一 般 財 源	2,070,000	5,993,000	5,604,000	5,325,000	5,207,000	5,032,000
予 算 現 額	6,070,000	5,993,000	5,604,000	5,325,000	5,207,000	0
決 算 額	5,734,800	5,807,104	5,456,316	5,204,009	4,807,951	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	5,734,800	5,807,104	5,456,316	5,204,009	4,807,951	0
執 行 率	94.5%	96.9%	97.4%	97.7%	92.3%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.75	0.76	0.85	0.85	0.90	
職 員 人 件 費	6,031,242	5,749,971	6,622,557	6,623,628	6,913,462	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	161,153	189,400	195,383	202,779	250,565	
総 コ ス ト	11,927,195	11,746,475	12,274,256	12,030,416	11,971,978	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
・市民を対象に実施する事業に対して、実施団体の負担を軽減し、市民が軽負担で参加できるように事業費の一部を補助することにより、スポーツ活動参加の機会を増やしている ・トップアスリートの育成を支援するため、全国大会・関東大会に出場する高校生以下の団体及び個人の交通費・宿泊費を補助し、選手の技術力向上を図っている ・ジュニアスポーツクラブの年間活動事業に対して補助を行うことにより、保護者の負担を軽減し各クラブの自主活動の推進を図っている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
府中市体育協会並びに各競技団体等と連携を密にし、情報収集に努めていく。

6 構成事業一覧

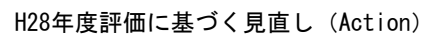
(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1647000	補助金 体育団体活動事業費	2,249,000	2,233,596	2,137,000
2	01	50	35	10	1648000	補助金 スポーツ大会参加	840,000	456,355	840,000
3	01	50	35	10	1649000	補助金 ジュニアスポーツ活動事業費	2,118,000	2,118,000	2,055,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,207,000	4,807,951	5,032,000

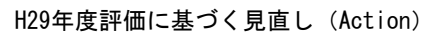
記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事 務 事 業 名				総合体育館管理運営事業		事 務 事 業 コ ー ド		30500100	
概 要		総合体育館の管理及び運営							
総 合 計 画	基本施策	6	スポーツ活動の支援			主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課		
	施 策	50	スポーツ環境の整備			事業類型	任意事業		
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	昭和46年度 ～		見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり	
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法、府中市体育館条例、同施行規則							
市 関 連 事 業		府中市スポーツ振興推進計画							
対 象		総合体育館							
実 施 の 背 景		市民にスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するとともに、総合体育館の適切かつ計画的な維持管理に努め、体育館利用者のスポーツ活動を支援する。							
事 業 目 標		総合体育館を快適に利用できるように整備し、より多くの方々にスポーツへの関心を持っていただく。							
事 業 内 容		様々な屋内スポーツが行える体育室を始め、卓球場やトレーニング室、武道場等を有する総合体育館の適切かつ計画的な維持管理を行うとともに、体育館利用者のスポーツ活動を支援する。							

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
総合体育館内の故障箇所を修繕することにより、施設を適切に維持管理した。	総合体育館の安全性や快適性を維持するため、修繕事業等の維持管理を適切に行うことができた。	



H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
総合体育館内の故障箇所を修繕することにより、施設を適切に維持管理していく。		総合体育館を安全、快適に利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援する。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
総合体育館内の故障箇所を修繕することにより、施設を適切に維持管理した。		総合体育館の安全性や快適性を維持するため、修繕事業等の維持管理を適切に行うことができた。	



H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
総合体育館内の故障箇所を修繕することにより、施設を適切に維持管理していく。	総合体育館を安全、快適に利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援する。

A 重点化・拡大して継続		B	現状、当該事務事業は適切に遂行できているため、現状維持とする。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1	
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 総合体育館の年間利用者数	227,359	計画値 当初値	235,000	235,000	235,000	235,000	235,000	基準値よりも29年度実績が多い理由は、体育室を貸し切って行われた各種大会参加人数が大幅に増加したため。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	251,402	250,047	250,608	242,740	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	118,323,000	144,893,000	166,453,000	161,581,000	152,522,000	147,942,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	31,622,000	30,009,000	30,891,000	31,252,000	32,268,000	33,456,000
一 般 財 源	86,701,000	114,884,000	135,562,000	130,329,000	120,254,000	114,486,000
予 算 現 額	121,233,000	169,149,000	166,453,000	161,581,000	152,522,000	0
決 算 額	121,010,792	164,849,848	151,608,917	149,797,795	150,537,786	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	31,489,877	31,875,372	33,167,400	32,889,172	31,571,081	0
一 般 財 源	89,520,915	132,974,476	118,441,517	116,908,623	118,966,705	0
執 行 率	99.8%	97.5%	91.1%	92.7%	98.7%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	3.82	3.73	2.80	3.80	3.85	
職 員 人 件 費	30,558,291	28,366,525	21,815,480	29,611,511	29,574,252	
嘱 託 員 数	0.5	0.5	2	1	0.9	
嘱 託 員 人 件 費	1,619,039	1,675,362	6,538,966	3,217,657	2,808,360	
(間接経費)						
間 接 経 費	923,318	1,059,794	1,103,358	1,145,114	1,322,436	
総 コ ス ト	154,111,440	195,951,528	181,066,721	183,772,077	184,242,834	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
総合体育館を快適に利用できるように維持管理してきた。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	25	1702000	総合体育館管理運営費 業務運営委託料	25,775,000	25,774,200	25,889,000
2	01	50	35	25	1703000	総合体育館管理運営費 管理委託料	49,589,000	49,560,877	50,615,000
3	01	50	35	25	1704000	総合体育館管理運営費 光熱水費及び燃料費	33,770,000	32,326,539	33,285,000
4	01	50	35	25	1705000	総合体育館管理運営費 諸経費	43,388,000	42,876,170	38,153,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							152,522,000	150,537,786	147,942,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名		地域体育館管理運営事業				事務コード	30500200
概要		地域体育館の管理及び運営					
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援		主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課	
	施策	50	スポーツ環境の整備		事業類型	任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和47年度 ～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等		スポーツ基本法、府中市体育館条例、同施行規則					
市関連事業							
対象		市内の地域体育館					
実施の背景		市民が身近なところでスポーツに親しむことにより、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するとともに、地域体育館の適切かつ計画的な維持管理に努め、体育館利用者のスポーツ活動を支援する。					
事業目標		地域体育館を快適に利用できるように整備し、より多くの方々にスポーツへの関心をもっていただく。					
事業内容		体育室や会議室等を有する地域体育館は市内に7ヶ所あり、老朽化に伴う施設修繕や関係法令に基づいた点検、清掃業務、警備業務など、適切かつ計画的な維持管理を行う。 地域体育館の運営に当たっては、運営協議会の意見を反映しており、団体利用や個人利用だけではなく、スポーツ教室やスポーツ大会等のプログラム、指導者を配置した一般開放を実施している。					

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼一般公開延べ利用者数 95,649人 ▼貸切延べ利用者数 ・体育室 76,532人 ・会議室など 52,690人 ▼自主事業延べ利用者数 44,610人 ▼栄町体育館空調和設備及び押立体育館外壁・屋上等防水改修工事を行った。	市内に7か所ある地域体育館を、安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
・各地域体育館において、運営協議会の開催 ・一般開放及びスポーツ指導の実施 ・貸切については、運営において調整を行い、利用団体を決定する。 ・運営協議会に委託し、地域住民を対象としたニュースポーツ等のスポーツ大会を開催する。 ・本宿体育館及び白糸台体育館の天井等改修工事を行う。		地域体育館を安全、快適に安心して利用できる施設として整備、維持管理していく。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼一般公開延べ利用者数83,248人 ▼貸切延べ利用者数 ・体育館73,212人 ・会議室など47,434人 ▼自主事業延べ利用者数40,225人 ▼本宿体育館及び白糸台体育館の天井等改修工事を行った。		地域体育館を安全、安心してスポーツ活動が行えるように利用できるように施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
・各地域体育館において運営協議会を開催する。 ・運営協議会に委託し、地域住民を対象としたニュースポーツ等のスポーツ大会を開催する。 ・一般開放及びスポーツ指導を実施する。 ・四谷体育館及び押立体育館の天井等改修工事を行う。 ・朝日体育館の今後の方向性について、市民や利用者等に意見聴取を行う。	利用する市民の誰もが、老朽化の進む地域体育館を安全・安心な施設として快適に利用できるように整備し、維持管理していく。 また、朝日体育館の今後の方向性について、市民や利用者等に意見聴取を行い検討を進めていく。

平成31年度における事業の位置付け

A 重点化・拡大して継続	B	今後とも利用する市民の誰もが、老朽化が進む地域体育館を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない		
2 見直しには法令等の改正が必須		
3 見直しの必要性はあるが時期尚早	3	
4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続		
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 地域体育館の年間利用者数	275,667	計画値 当初値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	平成29年度実績値は、基準値より25,362人減となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	269,241	267,970	269,481	244,119	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	97,269,000	99,950,000	97,170,000	96,872,000	95,689,000	96,984,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	18,790,000	18,801,000	18,917,000	19,505,000	19,340,000	17,226,000
一 般 財 源	78,479,000	81,149,000	78,253,000	77,367,000	76,349,000	79,758,000
予 算 現 額	95,838,000	100,889,000	97,170,000	96,872,000	100,721,000	0
決 算 額	94,056,048	99,778,559	95,144,742	93,066,508	97,746,449	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	19,427,148	19,476,117	19,497,943	18,959,786	17,393,125	0
一 般 財 源	74,628,900	80,302,442	75,646,799	74,106,722	80,353,324	0
執 行 率	98.1%	98.9%	97.9%	96.1%	97.0%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	2.11	1.91	1.90	1.90	1.65	
職 員 人 件 費	16,887,477	14,566,594	14,803,362	14,805,756	12,674,680	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	451,231	479,814	436,740	453,271	459,370	
総 コ ス ト	111,394,756	114,824,967	110,384,844	108,325,535	110,880,499	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内5箇所の地域体育館及び朝日体育館を安全・安心な施設として計画的に整備を行い、快適にスポーツ活動ができるように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。 また、老朽化が進む市内地域体育館施設の今後の在り方については、公共施設マネジメントの考え方にに基づき検討していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	25	1665000	地域体育館管理運営費 業務運営委託料	55,055,000	55,054,080	55,055,000
2	01	50	35	25	1666000	地域体育館管理運営費 管理委託料	23,452,000	21,636,513	24,788,000
3	01	50	35	25	1667000	地域体育館管理運営費 光熱水費及び燃料費	12,212,000	11,477,356	12,299,000
4	01	50	35	25	1668000	地域体育館管理運営費 諸経費	4,970,000	9,578,500	4,842,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							95,689,000	97,746,449	96,984,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	野球場維持管理事業				事務事業コード	30500300
概要	市民野球場の管理及び運営					
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援		主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課
	施策	50	スポーツ環境の整備		事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和25年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則					
市関連事業						
対象	市内の野球場					
実施の背景	野球場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、市民球場においては、高校野球等の大会会場として活動の支援をする。					
事業目標	野球場を快適に利用できるように整備し、多くの野球愛好者の利用増を目指す。					
事業内容	市内の野球場としては、市民球場及び第一・第二野球場があり、市民球場では高校野球東京大会が行われ、また、第一・第二野球場では市民体育大会等の各種大会で利用されており、これらを良好な状態に維持することを目的に、法令にも基づく点検業務やグラウンドの整備を行う。					

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用時間数】 ▼市民球場 1,808時間 ▼第1野球場 5,585時間 ▼第2野球場 3,469時間	各野球場を安全安心かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を適切に行うことができた。	

☐ 新規・レベルアップ☒ 継続☐ 見直し☐ 廃止

H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
市民球場、第一・第二野球場の貸出しを行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、老朽化箇所や故障箇所を計画的に修繕していく。	各野球場を安全、快適に利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援する。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用時間数】 ▼市民球場 1,759時間 ▼第1野球場 5,386時間 ▼第2野球場 3,261時間	各野球場を安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	

☐ 新規・レベルアップ☒ 継続☐ 見直し☐ 廃止

H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)	
・市民球場、第一・第二野球場の貸出しを行う。 ・施設を適切な状態に維持するため、老朽化箇所や故障箇所を計画的に修繕していく。 ・市民球場のスコアボードの改修を行う。	老朽化の進む各野球場を、全ての利用者が安全・安心かつ快適に施設を利用できるよう維持管理を行い、利用者のスポーツ活動を支援する。	

平成31年度における事業の位置付け				
A 重点化・拡大して継続		B	現状、当該事務事業は適切に遂行できているため、大幅な見直しは必要ない。 また、今後も全ての利用者が、老朽化が進む野球場を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。	
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない			
	2 見直しには法令等の改正が必須			
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早			
	4 現状では見直しが不可能			
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1		
	2 他事業との整理・統合			
D 休止・廃止等	1 休止			
	2 廃止			
	3 完了			

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 野球場の年間利用者数	131,562	計画値 当初値	145,000	145,000	145,000	145,000	145,000	平成29年度実績値は、基準値より2,274人減となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	128,999	132,159	139,761	129,288	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	61,360,000	63,589,000	60,717,000	62,486,000	58,696,000	58,719,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	16,010,000	18,785,000	17,959,000	18,128,000	16,748,000	16,634,000
一 般 財 源	45,350,000	44,804,000	42,758,000	44,358,000	41,948,000	42,085,000
予 算 現 額	61,360,000	63,507,000	60,717,000	63,040,000	58,474,000	0
決 算 額	57,993,152	57,055,717	55,028,086	60,315,524	57,736,896	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	16,602,957	18,514,128	15,804,429	16,488,080	15,834,667	0
一 般 財 源	41,390,195	38,541,589	39,223,657	43,827,444	41,902,229	0
執 行 率	94.5%	89.8%	90.6%	95.7%	98.7%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	1.85	2.15	2.14	2.14	2.15	
職 員 人 件 費	14,796,646	16,406,585	16,673,260	16,675,956	16,515,492	
嘱 託 員 数	0.5	0.5	0.5	0.5	0	
嘱 託 員 人 件 費	1,619,039	1,675,362	1,634,742	1,608,829	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	502,143	665,818	606,839	629,808	598,573	
総 コ ス ト	74,910,980	75,803,481	73,942,927	79,230,117	74,850,961	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
野球場施設を安全・安心な施設として計画的に整備を行い、快適にスポーツ活動ができるように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1652000	野球場管理費 管理委託料	40,514,000	40,157,887	40,316,000
2	01	50	35	15	1653000	野球場管理費 光熱水費及び燃料費	13,613,000	12,919,491	13,205,000
3	01	50	35	15	1654000	野球場管理費 諸経費	4,569,000	4,659,518	5,198,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							58,696,000	57,736,896	58,719,000

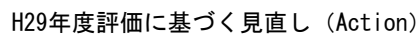
記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事 務 事 業 名				市民陸上競技場維持管理事業		事 務 事 業 コ ー ド		30500400	
概 要		市民陸上競技場の管理及び運営							
総 合 計 画	基本施策	6	スポーツ活動の支援			主管部課名		文化スポーツ部 スポーツ振興課	
	施 策	50	スポーツ環境の整備			事業類型		任意事業	
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		昭和25年度 ～		見直しの裁量	
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則							
市 関 連 事 業									
対 象		陸上競技場							
実 施 の 背 景		市民陸上競技場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、団体利用者及び個人利用者の活動の支援をする。							
事 業 目 標		市民陸上競技場を快適に利用できるように整備し、多くの陸上愛好者の利用増を目指す。							
事 業 内 容		300mトラックのある競技場や会議室を有する市民陸上競技場は、個人利用や団体貸出、市民大会等の各種大会に使用しており、老朽化に伴う施設修繕や関係法令に基づいた点検、清掃業務、警備業務など、適切かつ計画的な維持管理を行う。							

H28年度実績 (Do)			H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼貸切利用 177件、利用時間数 600時間 ▼団体利用 12件、利用時間数 45時間 ▼個人利用者 55,313人			市民陸上競技場を安全、安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	



H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
貸切での利用、団体及び個人が利用できるよう、貸出を行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、施設管理や法令に定める点検業務等を委託する。		市民陸上競技場を安全、快適に安心して利用できる施設として整備及び維持管理していく。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼貸切利用件数 155件 利用時間数 637時間 ▼団体利用件数 0件 利用時間数 0時間 ▼個人利用者数 53,606人		市民陸上競技場を安全、安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	



H30年度の具体的な取組（Plan）	H30年度の方向性（Plan）
・貸切での利用、団体及び個人が利用できるよう、貸出を行う。 ・施設を適切な状態に維持するため、施設管理や法令に定める点検業務等を委託する。	利用する市民の誰もが、老朽化の進む市民陸上競技場を安全・安心な施設として快適に利用できるように整備及び維持管理していく。

A 重点化・拡大して継続		B	今後も利用する市民の誰もが、老朽化が進む市民陸上競技場を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1	
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 陸上競技場の年間利用者数	76,322 人	計画値 当初値	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000	平成29年度実績値は、基準値より 7,255人減となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
		実績	55,982	75,181	67,973	69,067	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
	市民が安全に安心して快適にスポーツ活動が出来るように、市が適切に施設の維持管理を行うことが重要である。			
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	12,599,000	13,149,000	11,754,000	14,200,000	11,538,000	11,107,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	5,308,000	5,407,000	5,594,000	5,301,000	5,570,000	5,627,000
一 般 財 源	7,291,000	7,742,000	6,160,000	8,899,000	5,968,000	5,480,000
予 算 現 額	12,599,000	13,149,000	11,754,000	14,199,000	11,466,000	0
決 算 額	11,636,293	11,304,876	11,007,756	13,433,896	11,093,345	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	5,722,766	4,649,422	5,861,817	6,236,835	5,902,708	0
一 般 財 源	5,913,527	6,655,454	5,145,939	7,197,061	5,190,637	0
執 行 率	92.4%	86.0%	93.7%	94.6%	96.7%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	1.15	1.15	1.14	1.14	1.15	
職 員 人 件 費	9,167,487	8,739,956	8,882,017	8,883,453	8,833,868	
嘱 託 員 数	0.5	0.5	0.5	0.5	0	
嘱 託 員 人 件 費	1,619,039	1,675,362	1,634,742	1,608,829	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	351,731	413,285	376,975	391,244	320,167	
総 コ ス ト	22,774,550	22,133,479	21,901,490	24,317,422	20,247,380	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市民陸上競技場を安全・安心な施設として計画的に整備を行い、快適にスポーツ活動ができるように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

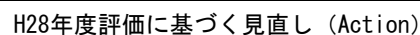
(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1655000	市民陸上競技場管理費 管理委託料	7,659,000	7,594,517	7,832,000
2	01	50	35	15	1656000	市民陸上競技場管理費 光熱水費	2,429,000	2,136,654	2,098,000
3	01	50	35	15	1657000	市民陸上競技場管理費 諸経費	1,450,000	1,362,174	1,177,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							11,538,000	11,093,345	11,107,000

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事 務 事 業 名				庭球場維持管理事業		事 務 事 業 コ ー ド		30500500	
概 要		庭球場の管理及び運営							
総 合 計 画	基本施策	6	スポーツ活動の支援			主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課		
	施 策	50	スポーツ環境の整備			事業類型	任意事業		
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度	昭和30年度 ～		見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり	
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則							
市 関 連 事 業									
対 象		市内の庭球場							
実 施 の 背 景		庭球場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、クラブ利用及び個人利用者の活動を支援する。							
事 業 目 標		庭球場を快適に利用できるように整備する。							
事 業 内 容		市内に庭球場は15ヶ所あり、クレーコート（市民庭球場、武蔵台庭球場）、全天候型コート（西府庭球場）、人工芝コート（その他12ヶ所）を良好な状態に維持することを目的に、清掃や除草等のコートの整備を行う。 なお、市民庭球場、武蔵台・小柳・栄町・平和の森庭球場については、ナイター利用が可能となっている。							

H28年度実績 (Do)				H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼全天候	利用時間	3,712時間	利用者数	11,706人	庭球所を安心安全かつ快適に利用できるよう適切に維持管理できた。
▼クレイ	利用時間	12,005時間	利用者数	42,380人	
▼人工芝	利用時間	70,328時間	利用者数	285,264人	

H29年度評価に基づく見直し (Action)

平成31年度における事業の位置付け			
A 重点化・拡大して継続		B	今後も利用する市民の誰もが、老朽化が進む庭球場を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小	3	
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 庭球場の年間利用者数	357,778	計画値 当初値	390,000	390,000	390,000	390,000	390,000	平成29年度実績値は、1月22日の降雪により庭球場が一時利用不能となったため基準値より26,102人減となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	327,949	301,776	339,350	331,676	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	26,841,000	26,164,000	26,022,000	26,113,000	25,396,000	26,207,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	26,841,000	26,164,000	26,022,000	26,113,000	25,396,000	26,207,000
一 般 財 源	0	0	0	0	0	0
予 算 現 額	27,579,000	27,514,000	26,520,000	26,071,000	25,556,000	0
決 算 額	25,640,457	27,118,242	24,816,095	24,280,686	25,106,830	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	25,640,457	27,118,242	24,816,095	24,280,686	25,106,830	0
一 般 財 源	0	0	0	0	0	0
執 行 率	93.0%	98.6%	93.6%	93.1%	98.2%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	1.50	1.40	1.39	1.39	2.15	
職 員 人 件 費	11,982,067	10,656,613	10,829,828	10,831,579	16,515,492	
嘱 託 員 数	0	0	0.2	0.2	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	653,897	643,531	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	320,160	351,022	365,482	379,316	598,573	
総 コ ス ト	37,942,684	38,125,877	36,665,301	36,135,113	42,220,895	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内15箇所に点在する庭球場を安全・安心な施設として計画的に整備を行い、快適にスポーツ活動ができるように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1658000	庭球場管理費 管理委託料	18,168,000	17,978,769	19,153,000
2	01	50	35	15	1659000	庭球場管理費 光熱水費	4,109,000	3,870,354	3,986,000
3	01	50	35	15	1660000	庭球場管理費 諸経費	3,119,000	3,257,707	3,068,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							25,396,000	25,106,830	26,207,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名				運動場維持管理事業		事務事業コード		30500600	
概要		運動場の管理及び運営							
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援		主管部課名		文化スポーツ部 スポーツ振興課		
	施策	50	スポーツ環境の整備		事業類型		任意事業		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度		昭和45年度 ～		見直しの裁量	
根拠法令等		スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則							
市関連事業									
対象		市内の運動場							
実施の背景		運動場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、様々なスポーツ活動の支援をする。							
事業目標		運動場を快適に利用できるように整備し、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々に、スポーツへの関心を持っていただく。							
事業内容		市内の運動場として、調布基地跡地運動施設の野球場、武蔵台運動広場の野球場、住吉地区運動広場の野球場、是政地区運動広場の野球場やソフトボール場、サッカー場、また、利用目的を限定しない小柳町運動広場があり、これらを良好な状態に維持することを目的に、芝の草刈や施設の清掃業務等を行う。							

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▼是政地区ソフトボール場 利用時間 1,203時間、利用者数 15,057人 ▼是政地区一般野球場 利用時間 2,151時間、利用者数 15,026人 ▼調布基地跡地野球場 利用時間 10,260時間、利用者数 139,150人 ▼住吉地区野球場 利用時間 2,001時間、利用者数 12,468人 ▼調布基地跡地サッカー場 利用時間 5,278時間、利用者数 62,402人 ▼是政運動広場 利用時間 1,598時間、利用者数 16,798人 ▼小柳町運動広場 利用時間 3,095時間、利用者数 19,050人	・市内の運動施設を安全かつ安心してスポーツ活動が行えるよう、施設の整備を行い快適に利用できるように適切に維持管理を行った。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組（Plan）					H29年度の方向性（Plan）	
・是政地区、調布基地跡地、住吉地区、是政・小柳町運動広場の貸し出しを行う。 ・運動施設を適切な状態で維持するために、保守点検、樹木の剪定・草刈り、ゴミ処理、施設の清掃等を行う。					・運動施設を適切に維持管理していくため、定期的に修繕等を実施する。	
H29年度実績（Do）					H29年度評価（Check）	評価内容 B 現状のまま継続
▼是政地区ソフトボール場	利用時間	915時間、	利用者数	11,452人	運動施設を安全、安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。	
▼是政地区一般野球場	利用時間	2,217時間、	利用者数	15,487人		
▼調布基地跡地野球場	利用時間	10,042時間、	利用者数	137,088人		
▼住吉地区野球場	利用時間	2,055時間、	利用者数	12,804人		
▼調布基地跡地サッカー場	利用時間	5,708時間、	利用者数	71,866人		
▼是政地区運動広場	利用時間	1,408時間、	利用者数	14,801人		
▼小柳町運動広場	利用時間	2,970時間、	利用者数	18,160人		



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
・是政地区、調布基地跡地、住吉地区、是政・小柳町運動広場の貸出を行う。 ・運動施設を適切な状態で維持するために、保守点検、樹木の剪定・草刈り、ゴミ処理、施設の清掃等を行う。 ・調布基地跡地暫定運動施設の仮設トイレ（大便器6箇所）の交換を行う。	運動施設を適切に維持管理していくため、定期的に修繕等を行う。

平成31年度における事業の位置付け

平成31年度における事業の位置付け			
A 重点化・拡大して継続	B	今後も市民の誰もが、老朽化が進む運動場を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。	
B 現状のまま継続			1 大幅な見直しは必要ない
			2 見直しには法令等の改正が必須
			3 見直しの必要性はあるが時期尚早
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	3		
			1 見直し・縮小
			2 他事業との整理・統合
D 休止・廃止等			
	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 運動場の年間利用者数	283,926	計画値 当初値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	平成29年度実績値は、基準値より2,268人減となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	309,434	233,776	279,951	281,658	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	23,481,000	25,632,000	26,981,000	28,564,000	25,616,000	30,451,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	97,000	117,000	125,000	147,000	136,000	121,000
一 般 財 源	23,384,000	25,515,000	26,856,000	28,417,000	25,480,000	30,330,000
予 算 現 額	23,331,000	25,611,000	27,087,000	30,810,000	32,583,000	0
決 算 額	22,400,641	25,186,061	24,435,145	30,480,267	31,954,502	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	127,842	533,705	133,671	103,555	130,861	0
一 般 財 源	22,272,799	24,652,356	24,301,474	30,376,712	31,823,641	0
執 行 率	96.0%	98.3%	90.2%	98.9%	98.1%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	2.63	2.33	2.31	2.31	1.57	
職 員 人 件 費	20,988,721	17,709,911	17,997,771	18,000,682	12,060,150	
嘱 託 員 数	0	0	0.2	0.2	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	653,897	643,531	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	560,818	583,352	576,956	598,794	437,097	
総 コ ス ト	43,950,180	43,479,324	43,663,769	49,723,274	44,451,749	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
運動場を安全・安心な施設として計画的に整備を行い、快適にスポーツ活動ができるように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1669000	運動場管理費 管理委託料	21,805,000	21,263,733	23,280,000
2	01	50	35	15	1670000	運動場管理費 光熱水費	465,000	565,494	481,000
3	01	50	35	15	1671000	運動場管理費 諸経費	2,920,000	8,892,039	6,294,000
4	01	50	35	15	1672000	ゲートボール場管理費 管理委託料	294,000	298,844	280,000
5	01	50	35	15	1673000	ゲートボール場管理費 光熱水費	48,000	41,172	34,000
6	01	50	35	15	1674000	ゲートボール場管理費 諸経費	84,000	893,220	82,000
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							25,616,000	31,954,502	30,451,000

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事 務 事 業 名				サッカー場維持管理事業				事 務 事 業 コ ー ド		30500700	
概 要		サッカー場の管理及び運営									
総 合 計 画	基本施策	6	スポーツ活動の支援				主管部課名		文化スポーツ部 スポーツ振興課		
	施 策	50	スポーツ環境の整備				事業類型		任意事業		
	事業種別	主要な事務事業		事業開始年度		昭和44年度 ～		見直しの裁量		市に事業見直しの裁量あり	
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則									
市 関 連 事 業											
対 象		市内のサッカー場									
実 施 の 背 景		サッカー場の適切かつ計画的な維持管理に努めるとともに、少年サッカーの都大会等の開場として支援を行う。									
事 業 目 標		サッカー場を快適に利用できるように整備し、より多くのサッカー愛好者の利用者増を目指す。									
事 業 内 容		市内のサッカー場として、市民サッカー場（２面）、朝日サッカー場（１面）があり、良好な状態に維持することを目的に、フィールド面の整備を行うとともに、朝日サッカー場の管理等の法令に基づく点検業務や鍵開閉、警備業務等を行う。									

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼市民サッカー場 利用時間 2,770時間、利用者数 42,632人 ▼朝日サッカー場 利用時間 2,309時間、利用者数 12,172人	サッカー場を安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理できた。	



H29年度の具体的な取組（Plan）		H29年度の方向性（Plan）	
市民サッカー場の貸出しを行う。 また、施設を適切な状態に維持するため、グラウンド整備や法令に定める点検業務を実施する。 朝日サッカー場は、ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地として整備する。		サッカー場を安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理することで、利用者のスポーツ活動を支援していく。	
H29年度実績（Do）		H29年度評価（Check）	評価内容 A 重点化・拡大して継続
【利用状況】 ▼市民サッカー場 利用時間 3,024時間 利用者数 46,482人 ▼朝日サッカー場 改修工事のため、利用はなかった。		サッカー場を安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理している。	



H30年度の具体的な取組（Plan）	H30年度の方向性（Plan）
・市民サッカー場の貸出を行う。 ・施設を適切な状態に維持するため、グラウンド整備や法令に定める点検業務を行う。 ・朝日サッカー場は、ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地として整備する。	市民の誰もが、サッカー場を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。

- 1 -

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① サッカー場の年間利用者数	36,125 人	計画値 当初値	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	平成29年度実績値は、基準値より10,357人増となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
		実績	57,119	69,392	54,804	46,482	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	39,900,000	31,770,000	31,593,000	30,970,000	72,033,000	46,276,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	3,535,000	3,493,000	4,106,000	3,781,000	2,963,000	3,002,000
一 般 財 源	36,365,000	28,277,000	27,487,000	27,189,000	69,070,000	43,274,000
予 算 現 額	39,446,000	31,770,000	31,593,000	30,641,000	48,728,000	0
決 算 額	30,220,041	30,194,637	27,474,704	26,827,884	47,836,797	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	4,927,619	3,712,609	3,437,748	3,236,599	2,677,985	0
一 般 財 源	25,292,422	26,482,028	24,036,956	23,591,285	45,158,812	0
執 行 率	76.6%	95.0%	87.0%	87.6%	98.2%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	1.45	1.35	1.34	1.34	1.65	
職 員 人 件 費	11,579,984	10,273,282	10,440,266	10,441,954	12,674,680	
嘱 託 員 数	0	0	0.2	0.2	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	653,897	643,531	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	309,415	338,395	353,989	367,388	459,370	
総 コ ス ト	42,109,440	40,806,314	38,922,855	38,280,757	60,970,847	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
サッカー場を安全・安心な施設として計画的に整備を行い、快適にスポーツ活動ができるように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。 朝日サッカー場は、ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地及び東京2020オリンピック・パラリンピックのキャンプ地として整備を行い、適切な維持管理を行う。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1678000	サッカー場管理費 管理委託料	22,724,000	20,636,220	34,472,000
2	01	50	35	15	1679000	サッカー場管理費 光熱水費及び燃料費	2,669,000	1,683,785	3,964,000
3	01	50	35	15	1680000	サッカー場管理費 諸経費	46,640,000	25,516,792	7,840,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							72,033,000	47,836,797	46,276,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	プール管理運営事業				事務事業コード	30500800
概要	市民プールの管理及び運営					
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援		主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課
	施策	50	スポーツ環境の整備		事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和28年度～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり
根拠法令等	スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則					
市関連事業						
対象	市内のプール及び水遊び場					
実施の背景	夏休み期間限定の施設であるが、適切かつ計画的な維持管理に努め、利用者の憩いの場所を提供する。					
事業目標	市民プールを快適に利用できるように整備し、多くの入場者の安全利用を目指す。					
事業内容	夏休み期間に限定して開放する市内のプールとしては、総合プールや5ヶ所ある地域プール、ナイター利用ができる市民プール、幼児を対象とした美好水遊び広場があり、広く市民の憩いの場、地域コミュニティの場として、市内プールを安全に快適に利用していただくために、水質管理や事故発生に備えた適切な措置等を行う。					

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【開催日数】 総合プールは47日、その他のプールは38日 【利用状況】 ▼市民プール利用者数 9,273人 ▼美好水遊び広場利用者数 10,771人 ▼ 総合プール利用者数 77,198人 ▼地域プール利用者数 30,287人 ▼市民プール循環濾過機濾材交換修繕及び消防用採水口配管取替修理、総合プール手摺塗装修繕を行った。	プールを安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理できた。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
各プールを夏休み期間に開放し、市民が安全に利用できるよう、水質状況を良好に保つことや事故に備えた業務を適切に行う。	プールを安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理していくことで、利用者のスポーツ活動を支援していく。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【開催日数】 総合プール：40日 その他のプール：38日 【利用状況】 ▼総合プール 利用者数 56,747人 ▼市民プール 利用者数 8,468人 ▼美好水遊び広場 利用者数 11,011人 ▼地域プール 利用者数 27,556人	プールを安全、快適に安心して利用できる施設として維持管理している。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)	
各プールを夏休み期間に開放し、市民が安全に利用できるよう、水質状況を良好に保つことや事故に備えた業務を適切に行う。	利用する市民の誰もが、プール施設を安全・安心な施設として快適に利用できるように維持管理していく。	

平成31年度における事業の位置付け

A 重点化・拡大して継続	B	今後とも利用する市民の誰もが、プール施設を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
1 大幅な見直しは必要ない	3	
2 見直しには法令等の改正が必須		
3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
4 現状では見直しが不可能		
1 見直し・縮小	3	
2 他事業との整理・統合		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① プールの年間利用者数	160,216	計画値 当初値	165,000	165,000	165,000	165,000	165,000	平成29年度実績値は、基準値より56,434人減となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	128,832	134,489	128,391	103,782	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	123,335,000	122,476,000	123,443,000	136,374,000	116,776,000	117,300,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	19,493,000	19,804,000	17,649,000	17,825,000	18,412,000	15,622,000
一 般 財 源	103,842,000	102,672,000	105,794,000	118,549,000	98,364,000	101,678,000
予 算 現 額	122,948,000	161,824,000	122,839,000	132,383,000	113,575,000	0
決 算 額	113,635,562	154,423,348	115,957,765	125,456,531	113,198,565	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	19,164,754	15,862,807	16,644,047	14,703,476	11,075,499	0
一 般 財 源	94,470,808	138,560,541	99,313,718	110,753,055	102,123,066	0
執 行 率	92.4%	95.4%	94.4%	94.8%	99.7%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	1.15	1.15	1.14	1.14	1.65	
職 員 人 件 費	9,167,487	8,739,956	8,882,017	8,883,453	12,674,680	
嘱 託 員 数	0	0	0.2	0.2	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	653,897	643,531	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	244,955	287,887	308,016	319,675	459,370	
総 コ ス ト	123,048,004	163,451,191	125,801,695	135,303,191	126,332,615	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
総合プール及び6箇所の地域プール、水遊び広場を、安全・安心な施設として計画的に整備を行い、快適に利用できるように維持管理している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
施設を適切に維持管理していくには、定期的な修繕の計画、実施が欠かせない。 また、老朽化が進む市内プール施設の今後の在り方については、公共施設マネジメントの考え方にに基づき検討していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1661000	プール管理運営費 業務運営委託料	75,810,000	74,667,538	76,291,000
2	01	50	35	15	1662000	プール管理運営費 管理委託料	8,248,000	8,115,233	8,104,000
3	01	50	35	15	1663000	プール管理運営費 光熱水費	20,334,000	19,369,148	18,903,000
4	01	50	35	15	1664000	プール管理運営費 諸経費	12,384,000	11,046,646	14,002,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							116,776,000	113,198,565	117,300,000

事務事業評価シート

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名		体育施設整備事業		事務事業コード	30500900
概要		体育施設の改修に伴う設計及び工事			
総合計画	基本施策	6	スポーツ活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課
	施策	50	スポーツ環境の整備	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等		スポーツ基本法・府中市体育施設条例、同施行規則・府中市体育館条例、同施行規則			
市関連事業					
対象		市内のスポーツ施設			
実施の背景		市内体育施設の修繕・大規模工事を計画的に実施する。			
事業目標		老朽化した市内体育施設を快適に利用できるように整備し、より多くの方々に安心・安全な施設として利用していただく。			
事業内容		体育館やプール、野球場、陸上競技場など、市内スポーツ施設を安全、快適に安心して利用していただける状態に維持するため、修繕計画等に基づき、老朽化した施設及び設備の大規模改修を計画的に実施する。			

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
・若松庭球場改修工事を実施した。 ・押立体育館外壁及び屋上防水等改修工事を実施した。 ・柴町体育館空調設備改修工事を実施した。 ・総合体育館第1体育室耐震調査事業を実施した。 ・総合体育館第2体育室天井改修実施設計業務を実施した。	市内スポーツ施設を、安全、快適に安心して利用できる施設として整備できた。 老朽化が進む市内スポーツ施設を快適に利用できるように、計画的に改修事業等を実施することができた。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
・朝日サッカー場芝生改良委託 ・朝日サッカー場フェンス設置工事 ・朝日サッカー場グラウンド外周路整備ほか工事 ・本宿体育館天井等改修工事 ・白糸台体育館天井等改修工事 ・総合体育館第2体育室天井改修工事	市内スポーツ施設を、安全、快適に安心して利用できる施設として整備していく。 老朽化が進む市内スポーツ施設を快適に利用できるようにするためには、大規模改修等の整備時期を視野に入れ計画的に進めていく。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
・朝日サッカー場芝生改良委託を実施した。 ・朝日サッカー場フェンス設置工事を実施した。 ・朝日サッカー場グラウンド外周路整備ほか工事を実施した。 ・本宿体育館天井等改修工事を実施した。 ・白糸台体育館天井等改修工事を実施した。 ・総合体育館第2体育室天井改修工事を実施した。	市内スポーツ施設を、安全、快適に安心して利用できる施設として整備した。	



☐ 新規・レベルアップ
 ☒ 継続
 ☐ 見直し
 ☐ 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)	
・押立天井等改修工事 ・四谷天井等改修工事 ・紅葉丘第二庭球場改修工事 ・日新庭球場解体工事 ・総合体育館旧棟耐震改修工事 ・府中市民（郷土の森）庭球場改修工事	市民の誰もが、老朽化が進む体育施設を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。	

平成31年度における事業の位置付け

A 重点化・拡大して継続	B	今後も市民の誰もが、老朽化が進む体育施設を安全・安心な施設として快適に利用できるよう計画的に整備を行い、維持管理していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 体育施設の年間利用者数	1,558,058	計画値 当初値	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000	平成29年度実績値は、平成24年度の基準値より104,997人減となった。
		計画値 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	1,537,210	1,495,290	1,537,459	1,453,061	-	
②	-	計画値 当初値	-	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	-	
	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	35,780,000	76,640,000	129,600,000	144,292,000	578,750,000	180,710,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	55,100,000	80,000,000	65,000,000	0	118,133,000
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	22,800,000	0	0	0	250,000,000	39,000,000
一 般 財 源	12,980,000	21,540,000	49,600,000	79,292,000	328,750,000	23,577,000
予 算 現 額	34,486,000	88,590,000	129,600,000	130,092,000	569,682,000	0
決 算 額	32,119,500	83,178,360	112,768,200	125,146,080	559,583,360	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	47,000,000	37,600,000	49,900,000	163,413,000	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	40,000,000	0	200,000,000	0
一 般 財 源	32,119,500	36,178,360	35,168,200	75,246,080	196,170,360	0
執 行 率	93.1%	93.9%	87.0%	96.2%	98.2%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.94	0.43	0.43	0.43	0.44	
職 員 人 件 費	7,478,740	3,296,650	3,350,234	3,350,776	3,379,915	
嘱 託 員 数	0	0	0.2	0.2	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	653,897	643,531	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	199,830	108,588	144,813	150,295	122,498	
総 コ ス ト	39,798,070	86,583,598	116,917,144	129,290,683	563,085,773	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市内スポーツ施設を安全に安心してスポーツ活動が行えるよう施設の整備を行い、快適に利用できるように維持管理できている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
市内スポーツ施設を快適に利用出来る様にするためには、大規模改修等の整備時期を視野に計画的に進めなければならない。 また、老朽化が進む市内スポーツ施設の今後の在り方については、公共施設マネジメントの考え方にに基づき検討していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	15	1697110	体育施設整備事業費 朝日サッカー場改修費	320,400,000	312,836,040	66,800,000
2	01	50	35	15	1699000	体育施設整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
3	01	50	35	25	1717050	体育館整備事業費 調査委託料	0	463,320	330,000
4	01	50	35	25	1717150	体育館整備事業費 設計委託料	0	2,420,000	
5	01	50	35	25	1717160	体育館整備事業費 監理委託料	11,750,000	9,288,000	
6	01	50	35	25	1717400	体育館整備事業費 総合体育館天井改修工事費	127,000,000	125,712,000	
7	01	50	35	25	1717770	体育館整備事業費 地域体育館天井改修工事費	117,600,000	108,864,000	111,580,000
8	01	50	35	25	1729000	体育館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							578,750,000	559,583,360	180,710,000

記 載 年 月	平成30年9月
対 象 年 度	平成29年度

事 務 事 業 名				学校開放運営事業		事 務 事 業 コ ー ド		30501100	
概 要		市民が身近な場所でスポーツ活動を行えるよう、施設の提供等を図る。							
総 合 計 画	基本施策	6	スポーツ活動の支援			主管部課名	文化スポーツ部 スポーツ振興課		
	施 策	50	スポーツ環境の整備			事業類型	法定事業・任意事業混在		
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	昭和52年度 ～	見直しの裁量	市に事業見直しの裁量あり		
根 拠 法 令 等		スポーツ基本法・学校教育法・社会教育法・府中市立学校施設使用条例							
市 関 連 事 業									
対 象		市民							
実 施 の 背 景		スポーツ基本法等に基づき、学校教育に支障のない範囲で施設を有効活用する。							
事 業 目 標		市民が身近な場所でスポーツ活動ができるよう、学校開放事業を推進し、より積極的な「スポーツの生活化」を図る。							
事 業 内 容		学校における体育館及び校庭の施設を、通常利用されていない土・日曜日や夜間の時間帯において、市内団体がスポーツ活動が行えるよう、利用開放を行う。							

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【利用状況】 ▼体育館 実施校数 33校、利用クラブ 315クラブ ▼校庭 実施校数 25校、利用クラブ 64クラブ 【施設・物品管理】 ▼フロアモップ・ライティングカードなどの消耗品の購入 ▼体育館の窓ガラス補修など施設の修繕	学校教育に支障のない範囲で開放を行った。	

H29年度評価に基づく見直し (Action)

平成31年度における事業の位置付け			
A 重点化・拡大して継続		B	地域の有効なスポーツ施設として、学校体育館・校庭等を学校教育に支障のない範囲で開放することにより、地域のスポーツ振興に寄与できている。
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない		
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小	1	
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
① 学校（体育館・校庭）開放 利用団体数	400	計画 当初値	400	410	410	410	410	体育館の利用枠がほぼ一杯になっていることから、今後大きく利用 団体数が増加することはないもの と考えられる。また、平成27年度 の利用人数の減少は、体育館の工 事に伴い利用できない期間が発生 したためである。
		補正值	-	-	-	400	平成29年度	
	団体	実績	382	381	379	385	-	
② 学校（体育館・校庭）開放 利用人数	520,000	計画 当初値	520,000	521,000	521,000	522,000	522,000	
		補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	人	実績	529,902	481,950	544,241	550,831	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当 初 予 算 額	3,788,000	3,701,000	3,455,000	3,443,000	2,284,000	8,141,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	3,788,000	3,701,000	3,455,000	3,443,000	2,284,000	8,141,000
予 算 現 額	3,501,000	3,701,000	2,955,000	2,167,000	2,284,000	0
決 算 額	2,492,071	3,157,974	1,012,285	1,002,176	1,227,872	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都 支 出 金	0	0	0	0	0	0
市 債	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0
一 般 財 源	2,492,071	3,157,974	1,012,285	1,002,176	1,227,872	0
執 行 率	71.2%	85.3%	34.3%	46.2%	53.8%	0.0%
(人件費)						
職 員 数	0.15	0.15	0.15	0.15	0.30	
職 員 人 件 費	1,206,248	1,149,994	1,168,686	1,168,875	2,304,487	
嘱 託 員 数	0	0	0	0	0	
嘱 託 員 人 件 費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間 接 経 費	32,230	37,880	34,479	35,784	83,521	
総 コ ス ト	3,730,549	4,345,848	2,215,450	2,206,835	3,615,880	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
地域の有効なスポーツ施設として、学校体育館・校庭等を学校教育に支障のない夜間等に開放することにより、地域のスポーツ振興に寄与している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
・市立の学校施設に加え、市内企業や大学施設の開放を目指したい。 ・利用者のマナー・モラルについて指摘される面が多いため、利用マナーの向上を目指していく。 ・市内企業及び大学等との協働事業として、施設の有効利用を検討していく。 ・適正な受益者負担を検討する。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	35	10	1643000	学校開放運営費	2,284,000	1,227,872	8,141,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							2,284,000	1,227,872	8,141,000